



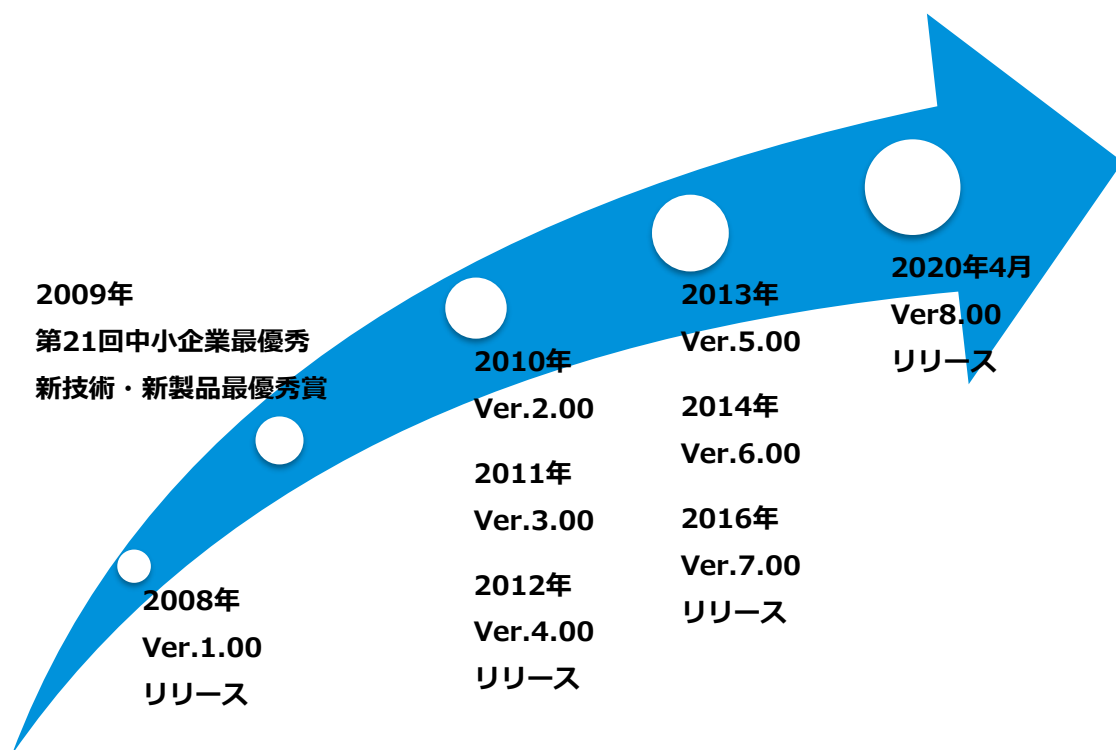
革新的マニュアル&コンテンツ作成ツール

第21回 中小企業優秀新技術・新製品賞 優秀賞 受賞製品

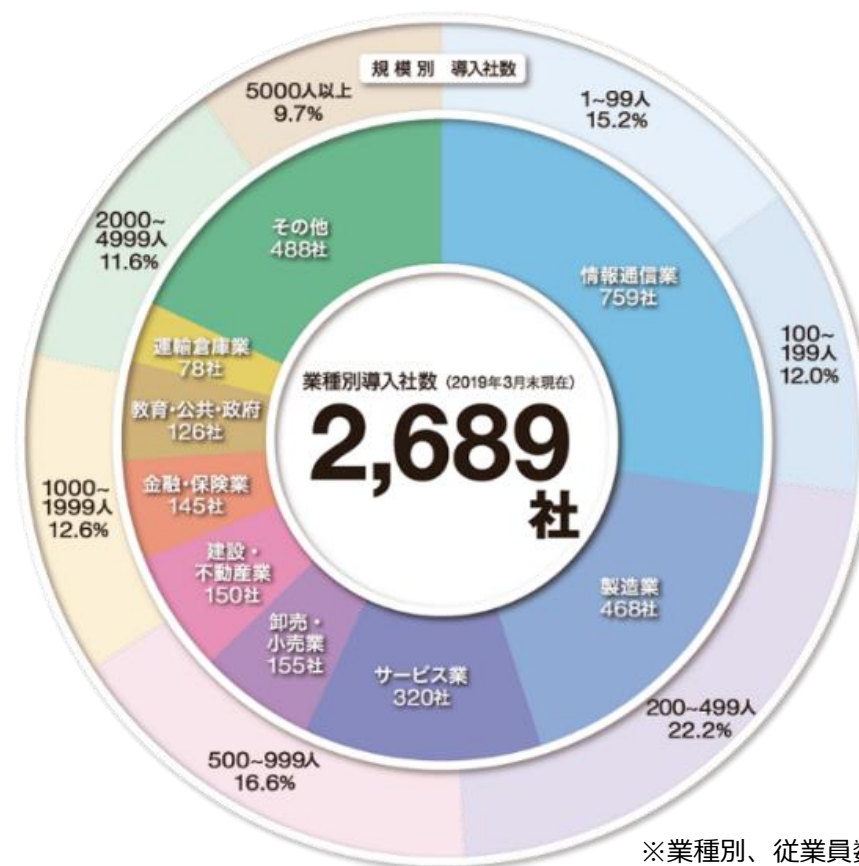
2020年7月2日（木）
株式会社テンダ
ビジネスプロダクト事業部
ビジネスプロダクト営業部 営業一部
渡邊 芳輝（わたなべよしき）

■ Dojo導入社数2689社(2019年3月時点)

Dojoは2008年の発売から10年以上経ちますが、**業界、業種、従業員規模を問わず**ご導入をいただいております、東京証券取引所の**上場企業約30%**でご利用いただいております。



※Dojo沿革



※業種別、従業員数別のDojo導入実績

RPAの課題

①業務の可視化に時間がかかる

②RPA化したい業務の作業手順書の作成に時間がかかる

③実務担当者とRPA担当者とのシナリオ作成のやり取りがスムーズにいかない

④開発担当者が異動し、RPAがどのように動いているのかわからない

⑤シナリオ作成要因の育成問題

これらを…



が解決します！

■ Dojoを使うとたった3ステップでシナリオ設計書の作成が可能

Dojoとは**RPA化したい業務を操作するだけ**で簡単に**シナリオ設計書**を作成することができるツールです。RPA化業務以外にも、システムマニュアルや教育コンテンツを作成し、教育面のサポートも可能なツールです。

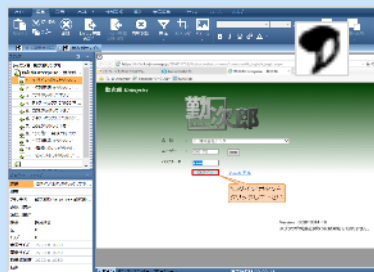
Dojo3ステップで作成

①操作



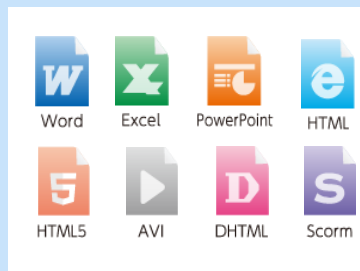
※RPA化したい業務を操作

②編集



※Dojoで編集

③出力



※Dojoで出力

画面ショットを自動取得
簡単マニュアル作成

すぐに活用

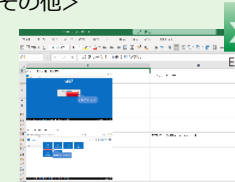
活用シーンが豊富

④運用



RPAシナリオ作成担当者へ展開！
そして、シナリオ作成へ

＜その他＞



※開発のテストエビデンスとして



※操作研修手順書として



※eラーニングコンテンツとして

Dojoデモンストレーション

RPA課題におけるDojoでの活用方法(1/2)

■ RPAの課題

- ① RPAを導入するには業務手順の把握が必要のため、実務担当者とRPA担当者の意見交換等のやり取りをするがスムーズにいかずにヒアリングに時間がかかってしまう。
- ② RPA化にあたり、作業手順書を作成する必要があるが作成に時間がかかる。たまに抜け漏れが発生し、二度手間に。

■ Dojoで解決

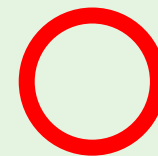
- ① 実務担当者に通常の操作をしてもらうだけで、現場の作業内容をドキュメント化できるため、**ヒアリングの工数を削減し、業務の可視化**が行えます。さらに、ドキュメントを**設計書として活用**し、シナリオを作成することが可能です。
- ② 操作内容をそのままドキュメント化するため**操作の抜け漏れ**がなくなります。



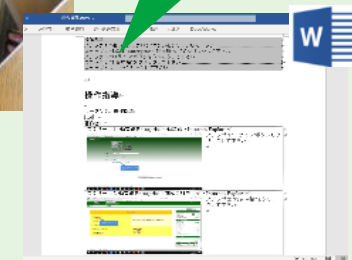
ヒアリングでは時間も手間もかかる



※ヒアリングで可視化する場合



Dojoなら操作するだけで可視化



※Dojoで可視化する場合

RPA課題におけるDojoでの活用方法(2/2)

■ RPAの課題

- ① 実務担当者とRPA担当者の意見交換等のやり取りがスムーズにいかずにRPAの実装に工数がかかる。
- ② RPA管理者が異動、退職した際にRPAがどのように動いているかわからず野良ロボットができてしまう。
- ③ RPA開発者の人員が不足しており、RPA開発者へ負担がかかってしまう。

■ Dojoで解決

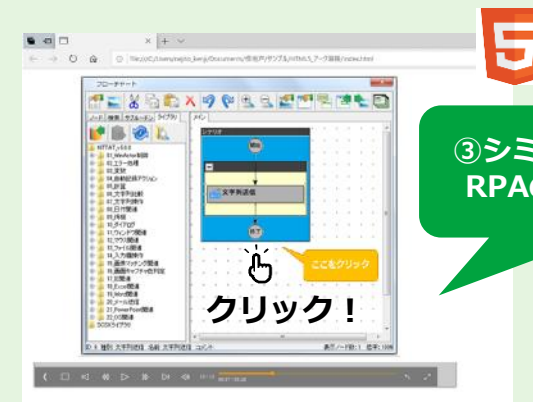
- ① Dojoでの作成物をシナリオ設計書として活用し、シナリオ作成者が**設計書通りにシナリオを作成するだけ**。
- ② Dojoでシナリオ設計書を作成しておくことによって**野良ロボットの防止**につながる。
- ③ RPAの開発自体を手順書として残しておくことによって**教育コンテンツとして活用**することができる。

①設計書通りシナリオを作成



※シナリオ設計書として活用

②設計書が野良ロボット防止に



※シミュレーション形式のRPA開発手順の教育コンテンツ

③シミュレーション形式で
RPAの開発手順を学べる

Dojoのその他活用例

■ システムマニュアルの課題

- ① システムマニュアルの作成は、画面ショットの取得・貼り付けに多大な時間がかかる。
- ② マニュアルだけではシステムの操作を覚えにくく、なかなか身に付かない。

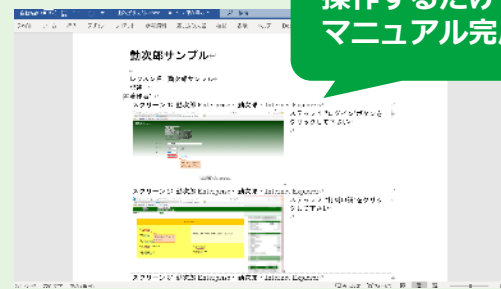


■ Dojoで解決

- ① システム操作するだけで「画面ショット・操作位置・操作内容」が自動挿入されるため、**マニュアル作成時間を削減**できます。
- ② 疑似体験ができる教育コンテンツを作成でき、そのコンテンツで学習することで**習熟度が上がり、システム操作が身に付きやすくなります。**



※PC操作イメージ



※マニュアル完成イメージ



※疑似体験ができる教育コンテンツ

■ 作業マニュアルの課題

- ① 工場などの作業現場の業務手順書、労災防止対策マニュアルを簡単に作成したい。
- ② 文字だけの引継ぎ書しかなく、複雑な作業内容やノウハウ継承が上手くいかない。

■ Dojoで解決

- ① **現場で撮影した写真や動画をそのまま利用**して、簡単に業務手順書や労災防止対策マニュアルなどが作成できます。
- ② ①をそのまま動的コンテンツとして作成し利用できるため、**ノウハウ継承がスムーズに行えます。**

現場写真から、Windowsの
「スライドショー機能+Dojo」
で簡単にマニュアル作成



※実機操作時の安全マニュアル

赤枠で手順書の
ポイントも自動挿入

補足動画の
挿入も可能



動的なコンテンツ
(HTML5)

※現場作業マニュアル

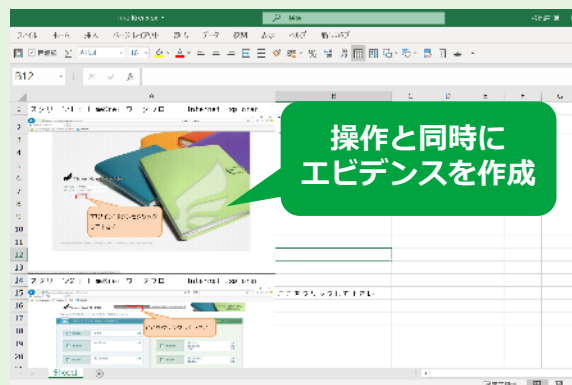
■テストエビデンスの課題

- ① システム開発におけるテストエビデンス作成は、操作毎の画面ショット取得が大変で、作成に時間がかかる。
- ② テスト時に発生したエラーは、エラー画面を取得できても、発生前の確認と再現をするのが難しい。

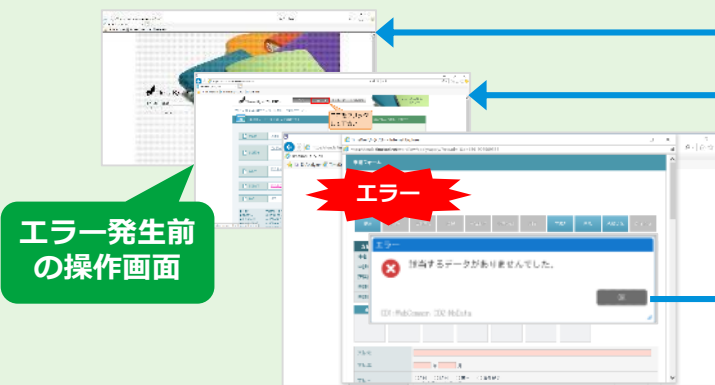


■Dojoで解決

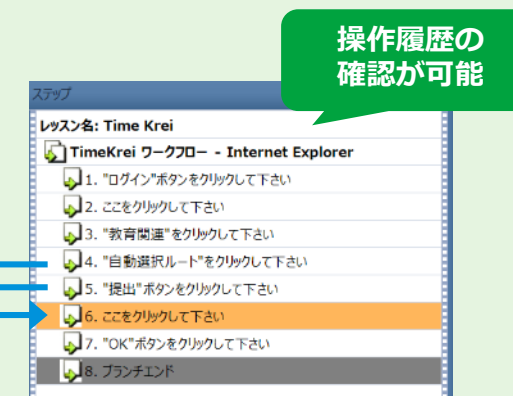
- ① Dojoを起動してテストを実施することで、**テスト終了と同時にエビデンスが完成**します。
- ② 操作手順を画面付きで記録できるため、**エラー発生までの手順を簡単に再現**できます。



※Excel出力のテストエビデンスの画面



※エラー発生時の画面、エラー発生前の画面の流れ



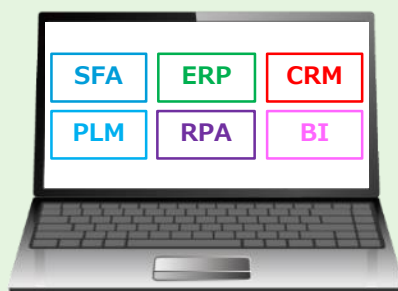
※ステップ(操作手順)の一覧画面

■ eラーニングコンテンツの課題

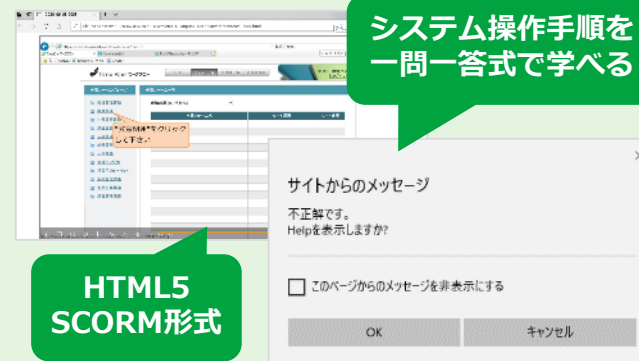
- ① 外注に e ラーニングコンテンツの作成を依頼するとカスタマイズが出来ない。そのため、社内でいつでも、誰でも作成でき、また編集ができるコンテンツを作りたい。
- ② 社員の習熟度を測るために、テスト問題を作成したい。

■ Dojoで解決

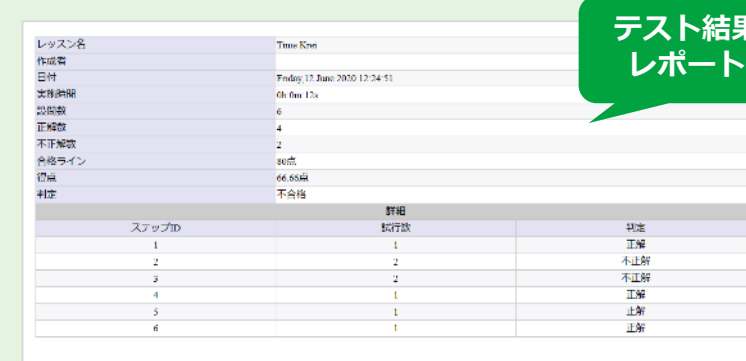
- ① システムを問わずに操作するだけで**自社オリジナルの e ラーニングコンテンツを簡単に作成でき、その編集も行えます。**
- ② **操作毎に採点ができるHTML5またはSCORM形式の e ラーニングコンテンツを簡単に作成**できます。また、**テスト結果レポートもあるため、ユーザー毎の操作習熟度も把握**できます。



※対象システムに制限無し



※テスト形式の e ラーニングコンテンツ



テスト結果レポート

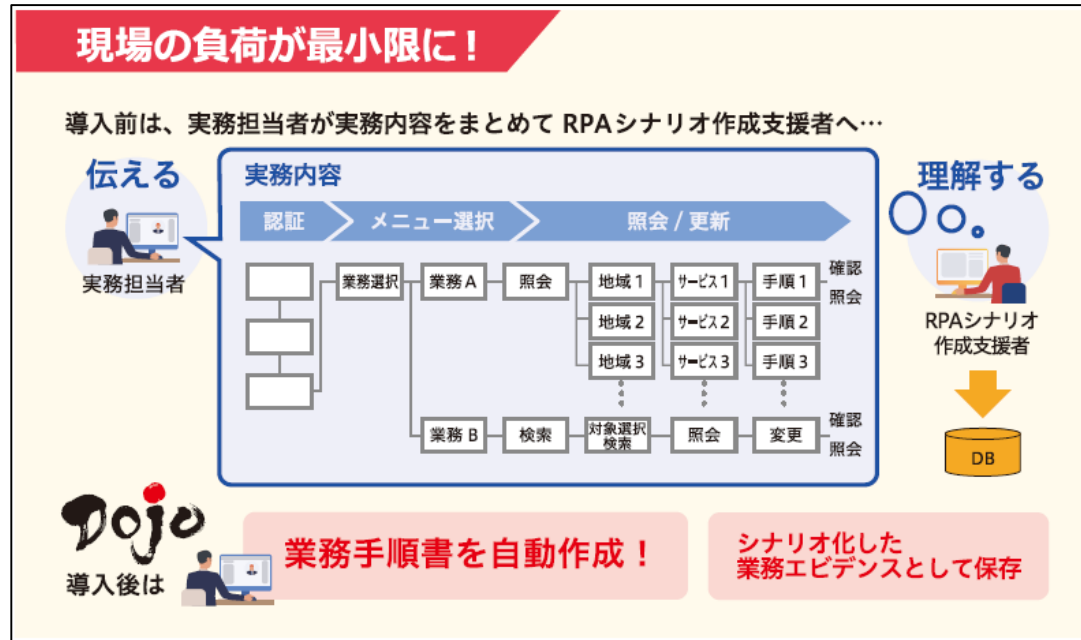
レッスン名	Time Kms
作成者	Friday, 17 June 2000 12:24:51
日付	Oh line 17s
実習時間	6
正解数	4
不正解数	2
合格ライン	80点
得意	66.66%
判定	不合格

スナップID	詳細	状況
1	1	正解
2	2	不正解
3	2	不正解
4	1	正解
5	1	正解
6	1	正解

※テスト結果のレポート画面

WinActorと掛け合わせた活用事例のご紹介

Dojo + WinActorの活用事例



- 企業名 : 某大手携帯販売代理店 様
- 創業 : 1992年
- 従業員数 : 1000名以上
- 事業概要 : 携帯電話等の販売及び代理店業務
ソリューション、ブロードバンド等
通信サービスの販売取次業務
決済サービスその他新規事業、海外事業

RPAシナリオ作成支援者と実務担当者のスムーズな連携を実現！

- 業務手順書作成にかかる現場の負荷を削減の為、Dojoを利用
- RPA作成支援者との意見交換をスムーズに行うために業務手順書を作成
- 1業務あたりのRPAシナリオ作成完了までにかかる時間を最小限に

質疑応答